学校便り

第１９号
since2006

久田学園佐世保女子 高等学校

H20(2008).5.20 〔平成２０年度 第１号〕

入学おめでとう！！

４月１０日(木)、平成２０年度の『入学式』を行ないました。あいにくの雨模様で肌寒い日となりましたが、在校生・教職員・来賓の方々、そして保護者の皆さんの歓迎と激励の拍手に迎えられ、場内は暖かい空気に包まれていました。

新入生の皆さん！！これから始まる３年間、そして卒業後の将来に向けて、今、それぞれ希望や期待に胸を膨らませていることと思います。その気持ちを忘れず、１日１日コツコツ積み重ねていきましょう。優しい気持ちで学校生活を送り、何事もあきらめず最善を尽くし、また、今さら言うまでもありませんが、勉強には今まで以上に努力して取り組んでください。高校生なので、当然です！！

一方で、不安な気持ちも抱えているのが正直なところでしょう。人間関係、成績や進路のことなどいろいろな悩みが出てくるはずです。それは皆さんが真剣に生きている証拠。私たち教職員一同も、全力でサポートしていきますので、遠慮なくぶつけてきてください。

『入学式』での皆さんの“誓いの言葉”。たくさんの人を目の前にして、一人ひとり「高校生活への思い」を発表してくれました。入学初日にいきなりの発表で、今までにない緊張感だったと思いますが、その堂々とした姿から***“素晴らしい高校生活を送ることができる”***とその場の誰もが確信させられました。ちょっと気が早いかもしれませんが、『卒業式』が今から楽しみです。３年後には、自分自身も気づかないうちに心身ともに大きく成長している姿を、きっと見せてくれることでしょう。

さて、２・３年生の皆さん！！かわいい後輩が入ってきました。自分たちの１年前・２年前をそれぞれ振り返ってみましょう。入学したての頃は、毎日が不安と緊張の連続だったのではないでしょうか？今の１年生も気持ちは同じです。何か困っている様子なら、積極的に声をかけ、助けてあげましょう。***かっこいい先輩・憧れの先輩を目指して！***

新入生に“ｍｙ箸”のプレゼント

昨年に引き続き、新入生に“ｍｙ箸”が贈られました。本校では入試の中に「箸の使い方」を取り入れるなど、食事のマナーや礼儀作法を重視しています。色とりどりで個性豊かなお箸たち。スクールランチやお弁当に使ってもらい、ますますマナーアップするよう願いが込められています。

久田学園の食育。

ここ数年の間で、“食育”という言葉はすっかり定着し、流行やブームと言ってもよい状況になっています。言葉自体は昔からあったようですが、平成１７年に「食育基本法」が制定され、その後、テレビや新聞などで盛んに取り上げられるようになり一般的な認知度が上がりました。では“食育”の定義とは何でしょうか？

「食育基本法」を見てみると**『二十一世紀における我が国の発展のためには、子どもたちが健全な心と身体を培い、未来や国際社会に向かって羽ばたくことができるようにするとともに・・・』**と前文から始まり全部で４章・３３条にわたって明記されています。・・・正直なところ、すべてを読むだけでも睡魔に襲われそうな気がします。内容を理解しようにも、「あーそうか」と簡単に納得することはちょっと難しそうです。逆に言うと、それだけ“食育”という言葉自体に様々な意味や活動が含まれていて、幅が広いということかもしれません。

私たちは『“食”を通じて、感性溢れる心を育み、豊かな人生を歩む基盤をつくること』『進学や就職、そして家庭に入るとき等、将来自立し生きていく上で“食”や健康についてしっかりと考えられること』を本校教育の柱の一つとして、日々実践しています。しかもそれは今の流行やブームに乗じたものではなく、３０年近くの実績を重ねています。本校においては、**当たり前のこととしてずっと取り組んできたこと**が、“食育”という言葉を借りて社会全体の取り組みになってきています。ちょっと気取った言い方をすれば「時代がようやく久田学園に追いついたのかな」と自慢したくなるような最近の風潮です。

以下、具体的な取り組みをご紹介します。

スクールランチは２８年目。

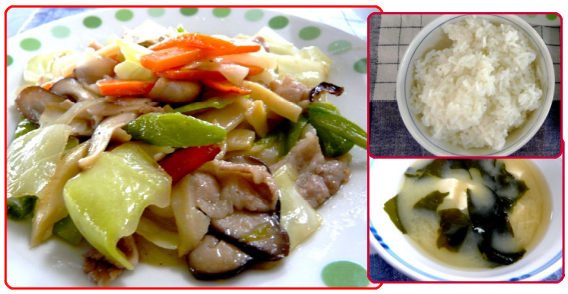
昭和５６年より始まったスクールランチ（ＳＬ）は、今年で２８年目を迎えます。全校生徒・全職員分の昼食を当番の生徒が調理する実習で、高校単独としては全国的にも例を見ない取り組みです。もちろん調理の技術を習得することだけを目的としている訳ではありません。調理後は全員で会食し、作る側食べる側双方で、それぞれ「もてなしの心」「感謝の心」を養います。また“箸の持ち方”や姿勢など食事の作法についても学んでいます。

現在は、火曜日ー１年生、水曜日ー２年生、木曜日ー３年生と週３回の実施となっています。**１年生は「基本（カレーライス･野菜炒めなど）」、２年生は「郷土（皿うどん・佐世保バーガーなど）・世界（パエリヤなど）」、３年生は「旬（つわの煮物など）・行事（ちまきなど）・エコ（冷蔵庫の残り物を利用し一品つくる）」**をテーマとして取り組んでいます。また「家庭料理の達人」「梅干の達人」など毎回、幅広い年代の主婦の方に“家庭の味”“料理のコツ”といった実際に役立つ指導をいただいています。特に健康面から、昔ながらの伝承料理や和食の良さについて見つめ直すことも主題の一つに置いています。

このスクールランチにおいて、３年間で１人およそ１５０食分の調理を行うことになりますが、毎食、注意することや反省点等をレシピノートに記入しています。写真やイラストなど、自分なりにそれぞれ工夫された１５０食分のレシピノート。卒業時には、４～５冊にもなっています。高校生活の積み重ねや学びの証しとなるとともに、*一生にわたって役立つ宝物*として、卒業生たちはずっと大事にしているようです。

スクールランチ（ＳＬ）４月のメニュー

４月は行事が多かったこともあり、スクールランチは全学年で６回の取り組みとなりました。１年生の記念すべきＳＬ初挑戦メニューは“野菜炒めとお味噌汁”。いろいろと戸惑いもあったかもしれませんが、上手に美味しく出来上がっていました。２年生のメニューには“キビナゴの天ぷらと刺身”が登場。海が近い佐世保ならではの料理と言えるでしょう。それにしても、学校で新鮮な刺身が食べられるとは感激です!!そして端午の節句（５月５日）も近いということで、３年生は“中華ちまき”をつくりました。ホカホカの包みを開けると美味しそうな香り。肝心の味の方は・・・「**さすが３年生！**」でした。



１年生＝ご飯／味噌汁／野菜炒め

１年生＝カレーライス／グリーンサラダ

２年生＝春色ご飯／味噌汁／ｼﾌｫﾝｹｰｷ
アスペラの彩り炒め

２年生＝玄米ご飯／味噌汁／切り干し大根の煮物
キビナゴの天ぷら･刺身

３年生＝手巻き寿司／つわの煮物
すまし汁

３年生＝中華ちまき/切り干し大根と大豆のキムチ
中華スープ／オレンジゼリー

今年の取り組み。その１ ～生ごみリサイクルに挑戦～

「スクールランチ」においては、従来の取り組みに加え、生ごみリサイクルにも挑戦します。調理で出た生ごみを学校の畑に戻し、良質の土へと変えていく取り組みです。ご指導いただくのは、今や県内で知らない人はいないのではないかと思われる「大地といのちの会」代表の吉田俊道様です。初年度はさつま芋づくりにチャレンジしますが、将来的には①様々な作物を栽培し②それをスクールランチで調理・食事をし③調理のごみを畑に戻すという①→②→③→①・・・という循環を行います。この活動を通し、生命の尊さについてより深く考え、同時に環境問題への意識が高まることも期待しています。また今年度は、学校近隣にお住まいの方々をご招待し、実際に生徒の様子をご覧いただいたり、食事を共にしたりと、積極的に交流を図ります。生徒には、保護者・先生のみならず地域の皆様などたくさんの人に見守られていることを実感してもらい、また地域の皆様方におかれましては様々な意見をお寄せいただき、これから交流がどんどん広がっていく契機になればと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

今年の取り組み。その2 ～食アレンジメントコンテストetc…～

昨年の「食アレ」の様子。

自分や家族のことを思いながら、栄養バランスや味などを考慮しつつ献立をたて、限られた予算の中で買い物を行い、調理をする。社会人なら当たり前のようですが実は結構大変な行為です。しかも、その当たり前の積み重ねが、健康で豊かな人生を歩んでいくことの土台となります。それら「当たり前」の力を試す機会が７月に開催される**「食アレンジメントコンテスト」**で、本校が考える食育活動の代表的な取り組みの一つとなっています。数グループに分かれ、調理のアイデアや技術を競うもので、決められたテーマ（例：夏を乗り切る料理）と設定された金額に沿って、献立作成・買い出し・調理までを行ないます。“テーマとの関連・見た目・味”などが審査項目となっており、審査員には、市内や近郊の中学生、お近くにお住まいの方々、小中学校の先生方にお願いする予定です。

他にも**「ヘルシークッキングコンテスト」**への参加や**「お魚講習会」「おにぎりンピック」**の開催など、私たちが考える食育活動を実践していきます。今後、これらの概要や結果報告といった詳しい情報も発信していく予定ですので、ご期待ください。

また大久保小学校の皆さんとは今年度も、「いも掘り」をはじめ、一年間を通じて様々な交流を重ねていきます。これまで以上に交流が深まっていければと願っています。

今年も、さくらさく。

今年の春も、校内のあちらこちらで桜が咲き誇りました。近所の町内会や老人ホームの皆さん、同窓生などなど大勢の人が集まり、それぞれに暖かい春の訪れを満喫されていたようです。

桜は校章にも使われているように、**本校を象徴する花**です。例年に比べ開花が遅くなったおかげで、いつもは春休みでゆっくり見ることができない生徒たちも、今年はきれいな景色を楽しむことができました。また、満開とまではいきませんでしたが、入学式の時点でも花が残っていたのは、きっと新しく仲間入りした新入生たちを優しく祝福してくれていたのではないでしょうか。充実した高校生活を送って、恩返しをしてあげましょう。

この桜の開花にあわせるように、ＬＬ教室を改装し、その名もズバリ**「さくらルーム」が誕生**しました。床と壁がすべて桜の木で囲まれた落ち着きとぬくもりある空間となっています。様々な活動ができる多目的ホールです。どんどん活用していきましょう。